

真光寺三重塔



指定区分	国指定重要文化財(建造物)
読みかた	しんこうじさんじゅうのとう
所在地	備前市西片上
指定年月日	昭和28年11月14日
解説	慶長6年(1601)に牛窓の蓮華頂寺にあったものを移築した、方三間、本瓦葺の三重塔である。総高18.24m。軒は二軒繁垂木である。初重の各面の中央に置かれた室町時代の特徴をもった墓股には、月輪[がつりん]に種子を置いた彫刻が施されている。内部には二本の来迎柱を立て、来迎壁を作っている。その前には仏壇を設けて、仏師八木浄慶が製作した、三石のろう石製の大日如来座像が安置されている。
アクセス方法	JR西片上駅から徒歩約5分
公開状況	外観のみ
設備	
備考	